

電気通信事業法第33条第2項に基づく第1種指定電気通信設備との接続に関する契約約款の一部改正

旧	新
	<p><u>附 則（平成 25 年 12 月 27 日西設相シ第 47 号）</u> <u>この改正規定は、平成 26 年 3 月 1 日から実施します。</u></p>

第1章 通則

(用語の定義)

第1条 この技術的条件集においては、次表の左欄の用語はそれぞれの右欄の意味で使用します。

用語	意味
(略)	(略)
(74) <u>ダイヤルQ²接続機能</u>	当社の電話サービス契約約款又は総合デジタル通信サービス契約約款に定める有料情報サービスに接続する機能
(略)	(略)

(略)

第1章 通則

(用語の定義)

第1条 この技術的条件集においては、次表の左欄の用語はそれぞれの右欄の意味で使用します。

用語	意味
(略)	(略)
(74) <u>削除</u>	削除
(略)	(略)

(略)

第18節 形態6-2

(網構成) (略)

(接続方式)

第85条 1~8 (略)

9 ダイヤルQ²接続機能に関わる当社網と直接協定事業者網間で使用する接続方式は次のとおりとします。

(1) 当社網から直接協定事業者網へ問い合わせを行う電気通信番号は電気通信番号規則(平成9年郵政省令第82号)を準用することとし、その構成は次のとおりとします。

ア 0990 + DEF + GHJ

サービス識別番号 事業者識別番号 加入者番号

イ 当社網と直接協定事業者網間で転送する着信番号の有効受信桁数は9桁とします。

(2) 直接協定事業者網から当社網へ信号により通知する電気通信番号は第5条(接続方式)第3項(1)の規定を準用します。

(3) 当社網から発信可能な端末回線の種別は、第1項(3)の規定を準用します。

(4) 当社網と直接協定事業者網間で回線非対応信号を使用する信号方式は次のとおりとします。

ア 当社網と直接協定事業者網間は共通線信号方式を使用し、TTC標準に準拠したNo.7信号方式を適用します。

イ MTP仕様は、技術的条件集別表3または技術的条件集別表3.1に示すとおりとします。

ウ SCCP仕様は、技術的条件集別表12.1に示すとおりとします。

エ NTT固有サービス制御仕様は、技術的条件集別表17に示すとおりとします。当社網と直接協定事業者網間の転送情報(各信号に設定されるパラメータを記述します。)は次のとおりとします。

信号の方向：当社網→NSP(SDRQ)

情報名	適用
発信ID	●
発信KA	●
発ユーザ種別	●
ダイヤル数字	●
機能レベル表示	●
通信路要求表示	●

第18節 形態6-2

(網構成) (略)

(接続方式)

第85条 1~8 (略)

9 削除

付加ユーザ種別	○
第2網機能種別	○
試験呼情報	○

信号の方向：NSP→当社網（SDRP）

情報名	適用
課金形態指示	●
接続指示	
接続形態	●
出回線送出数字	○
発側接続ARE制御	○
局内トランク	○
IP名通知時間	●
着ユーザ番号	○
ISUP1リンク希望表示	○
課金信号要求フラグ	●
網機能種別	●
課金情報	●
IP番号	●
料金算定区間MBI	●
機能レベル表示	●
NSP設定情報	○
第2網機能種別	○

信号の方向：当社網→NSP（CHIF）

情報名	適用
切断イベント	●
着信端末番号	●
通信開始時刻	○
通信終了時刻	○
通話時間	○

信号の方向：NSP→当社網（CHAK）

情報名	適用
課金信号再送出要求フラグ	●

信号の方向：NSP→当社網（LNCM）

情報名	適用
着信端末番号	●

信号の方向：当社網→NSP（LNR P）

情報名	適用
通話路確認フラグ	●
着信端末番号	●

信号の方向：当社網→NSP（LNIN）

情報名	適用
初期設定フラグ	●
呼識別番号	●

信号の方向：当社網→NSP（LNAK）

情報名	適用
初期設定フラグ	●
呼識別番号	●

（凡例） ●：必ず設定されます ○：必要時設定されます

オ 技術的条件集別表 5 に示す接続シーケンスの内、ダイヤルQ²接続機能への接続で規定する接続シーケンス例はPT-O1のとおりとします。

ただし、接続シーケンスは、発側網とNSP間のみを規定することとし、その他については、発側網とNSP間の接続シーケンスの解釈を補助する位置づけとし、規定しません。

（5） 当社網と直接協定事業者網間で回線対応信号を使用する信号方式は、第32条（接続方式）第1項の分類3の規定を準用します。

（6） 本則の共通線信号網利用機能（ウ欄）に係る料金の適用の信号は第1項（6）の規定を準用します。

（7） 当社網と直接協定事業者間で使用する試験方式は、第1項（7）の規定を準用します。

技術的条件集別表 1

1. (略)

2. サービス番号への接続条件

(1)、(2) (略)

(3) O A B O 系番号による付加サービスへの接続条件は次に規定するとおりとする。

ア～オ (略)

カ ダイヤルQ 2 接続機能は、形態 6 - 2 での接続番号が 0 9 9 0 + D E F G H J の当社出接続において提供する。

(略)

技術的条件集別表 1

1. (略)

2. サービス番号への接続条件

(1)、(2) (略)

(3) O A B O 系番号による付加サービスへの接続条件は次に規定するとおりとする。

ア～オ (略)

カ 削除

(略)

技術的条件集別表 1 7

- 1. (略)
- 2 転送データ部
- 2. 1、2. 2 (略)
- 2. 3 接続指示パラメータ構成(A 0 A 1 / C 0 C 1)

- 2. 3. 1 (略)
- 2. 3. 2 接続指示パラメータ
接続指示パラメータを表 2. 3. 2 に示す。

表 2. 3. 2 A 0, A 1 パラメータ一覧及び A 0, A 1 と C 0, C 1 の対応(1 / 3)

		C 0		0010													
		C 1		000	001	001	010	010	011	011	100	100	101	110	110	11	
		1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	1	0	1	10	
A 0	A 1	接続形態															
	パラメータ名	一般接続	発信地域案内接続	局内トランク接続	A R E 接続	先着完了予報案内接続	先着完報案内接続	着信拒否接続	通信パス解放	A R E 接続(有料)	A R E 接続後一般接続中合図音有り	発信地域案内接続	A R E 接続後一般接続	リダイレクション判定接続			
(略)																	
1101	0001	I P 名通知時間											○				
	0010	待合わせ時間															
	0011	強切タイミ ング															

技術的条件集別表 1 7

- 1. (略)
- 2 転送データ部
- 2. 1、2. 2 (略)
- 2. 3 接続指示パラメータ構成(A 0 A 1 / C 0 C 1)

- 2. 3. 1 (略)
- 2. 3. 3 接続指示パラメータ
接続指示パラメータを表 2. 3. 2 に示す。

表 2. 3. 2 A 0, A 1 パラメータ一覧及び A 0, A 1 と C 0, C 1 の対応(1 / 3)

		C 0		0010													
		C 1		000	001	001	010	010	011	011	100	100	101	110	110	11	
		1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	1	0	1	10	
A 0	A 1	接続形態															
	パラメータ名	一般接続	発信地域案内接続	局内トランク接続	A R E 接続	先着完了予報案内接続	先着完報案内接続	着信拒否接続	通信パス解放	A R E 接続(有料)	A R E 接続後一般接続中合図音有り	発信地域案内接続	A R E 接続後一般接続	リダイレクション判定接続			
(略)																	
1101	0010	待合わせ時間															
	0011	強切タイミ ング															

表 2. 3. 2 A0, A1パラメーター一覧及びA0, A1とC0, C1の対応(2/3)

		C 0		0011														
		C 1		000	001	001	010	010	011	011	100	100	101	101	110	110	111	111
A 0	A 1	接続形態 パラメータ名	待合せ接続	待合せ一般接続	待合せ発信地域案内接続	待合せ発信地名案内接続	待合せ着信完了予報案内接続	ARE接続(呼経過)	発信地域案内接続(MRS)	MRS接続	先着完了予報案内接続(MRS)	先着完了案内接続(MRS)	着信拒否接続(MRS)	着信地名案内接続(MRS)	待合せ接続(MRS)	待合せ発信地域案内接続(MRS)	待合せ発信地名案内接続(MRS)	
	(略)																	
110 1	000	IP名通知時間																
	001	待合わせ時間	○												○			
	001	強切タイミン グ																

表 2. 3. 2 A0, A1パラメーター一覧及びA0, A1とC0, C1の対応(2/3)

		C 0		0011														
		C 1		000	001	001	010	010	011	011	100	100	101	101	110	110	111	111
A 0	A 1	接続形態 パラメータ名	待合せ接続	待合せ一般接続	待合せ発信地域案内接続	待合せ発信地名案内接続	待合せ着信完了予報案内接続	ARE接続(呼経過)	発信地域案内接続(MRS)	MRS接続	先着完了予報案内接続(MRS)	先着完了案内接続(MRS)	着信拒否接続(MRS)	着信地名案内接続(MRS)	待合せ接続(MRS)	待合せ発信地域案内接続(MRS)	待合せ発信地名案内接続(MRS)	
	(略)																	
110 1	001	待合わせ時間	○												○			
	001	強切タイミン グ																

表 2. 3. 2 A0, A1パラメーター一覧及びA0, A1とC0, C1の対応(3/3)

		C0	0100						
		C1	0001	0010	0011	0100	0101	0110	0111
A0	A1	接続形態 パラメータ名	待合せ先着完了予報案内接続(MRS)	MRS接続(呼経過)	マルチ接続	MRS接続(有料)	MRS接続後マルチ接続	MRS接続後一般接続中合図音有り	MRS接続後一般接続
	(略)								
1101	0001	IP名通知時間						○	
	0010	待合わせ時間							
	0011	強切タイミング			○		○		

(略)

表 2. 3. 2 A0, A1パラメーター一覧及びA0, A1とC0, C1の対応(3/3)

		C0	0100						
		C1	0001	0010	0011	0100	0101	0110	0111
A0	A1	接続形態 パラメータ名	待合せ先着完了予報案内接続(MRS)	MRS接続(呼経過)	マルチ接続	MRS接続(有料)	MRS接続後マルチ接続	MRS接続後一般接続中合図音有り	MRS接続後一般接続
	(略)								
1101	0010	待合わせ時間							
	0011	強切タイミング			○		○		

(略)

2. 3. 3 接続指示パラメータ構成

(1) ~ (4) (略)

(5) IP名通知時間

7	6	5	4	3	2	1	0
A0				A1			
A							
B							
C							

図 2. 3. 6 接続指示パラメータ構成 (IP名通知時間)

A0=1101、A1=0001

IP名通知時間 $((A \times 100 + B \times 10 + C) / 2)$ 秒

注 A~Cは、IA5コーディングを使用する。

(略)

2. 3. 3 接続指示パラメータ構成

(1) ~ (4) (略)

(5) 削除

(略)